

おいらせ町庁舎整備検討委員会（第4回） 議事の概要

日 時 平成25年5月15日（水） 14時～15時40分

会 場 おいらせ町役場本庁舎2階庁議室

出席者 委員12名（木村雅行委員長、久保田良一委員、石川宏之委員、佐々木秀智委員、永井紀昭委員、福原仁一委員、山内正夫委員、市村堅二郎委員、熊野勝則委員、工藤一雄委員、種市恭子委員、松田美穂子委員）

事務局4名（行政管財課：田中課長、松山課長補佐、総務課：松林課長、企画財政課：鈴木課長補佐）

1. 開会

- ・事務局（田中）より、委員の変更について説明。農協の人事異動に伴い木村晃委員から熊野勝則委員へ変更となった。熊野委員あいさつ
- ・事務局（田中）より、事務局体制の変更について説明。4月1日の機構改革により、主管課が総務課から行政管財課へ、総務課長及び補佐はそのままとし、企画財政課長を追加した。

企画財政課 鈴木課長補佐あいさつ ※課長代理として出席

- ・委員長あいさつ

みなさんどうもこんにちは。庁舎整備検討委員会も回を重ねること今回で4回目となります。いよいよ次回は最終回ということで大詰めとなってまいりましたが、特に今回は核心部分であります建設予定地という候補地と申しますか、検討しなければなりません。もちろんその前に前回までの3回分のまとめ、事務局は大変ご苦勞なさっているのではないかなと考えております。しかしよくまとまっていると思います。みなさんもまた積極的な意見をどんどん出していただいて、よい方向に行っているのではないかと考えております。今日も引き続きご検討いただきたいと思っております。また時間があれば今後の課題、検討事項についても触れたいと思っておりますが、時間がない場合には次回に持ち越すという形で構いません。時間の許す限り皆様の積極的なご意見をお待ちしておりますので、本日もよろしく申し上げます。

2. 案件 議事進行は委員長

(1) 前回までの整理

資料説明

- ・資料1により、事務局説明。

この「おいらせ町庁舎整備基本方針（素案）」については、これま

で3回の委員会で議論した内容や資料を整理し、最終的にはこういう体裁で町長に答申するという内容をイメージしていただくために、現段階での素案として作成したものです。本日いろいろとご意見をいただき、さらに体裁を整え次回の委員会までに委員の皆様へ送付したいと考えております。本日は中身の内容について、追加訂正等あればご意見いただきたい。

委員長：資料説明に対してご意見等があれば伺います。

委員全員：特になし。

委員長：このままでよろしいですか。何かあの言葉が抜けているとか。私が言ったことが載っていないとかございませんか？事務局に確認しますが、コンセプトの数は10項目で決まりか。追加したり減らしたりできるか？

事務局：できます。基本理念の4つと表現が同じものを外したところ10項目になったというだけです。

Y委員：6ページにあるコンセプトの⑧は「経済性・耐久性を考慮した庁舎」とあり、⑨は「ライフサイクルを意識した庁舎」とあるが、⑨の方も考慮したという表現でよいのではないかと？

委員長：意味合いは同じだと思うが、並びで同じ語句にした方がよいのではないかという意見ですね。事務局はいかがですか？専門的な部分で多少違うかもしれませんが、意識より考慮の方が若干深いと思うが。

事務局：考慮でも構わないと思う。

委員長：他にご意見ありませんか？5ページの基本理念の4項目はこれでよろしいですか？特に事務局が先ほど言っていた④「町民と職員がつくるアットホームな庁舎」、この町民と職員の「職員」は他の言葉に置きかえることができるか？F委員が「公僕」という言葉を使ったのですが、ちょっとそれは無理だなということで「職員」としたということですが、それでいいですか？

F委員：はい。

委員長：許していただけますか？それでは5ページの4項目の基本理念については、これでみなさんからご賛同いただいたということでもよろしいですか？

委員全員：はい。

委員長：次の6ページ目の10項目は、Y委員から指摘があった⑨については、「考慮」に替えることでいいですか？替えた形での10項目でみなさんよろしいですか？

委員全員：はい。

委員長：それではみなさんからご賛同いただいたということで、それ以外にこの素案について、5ページ、6ページ以外でご要望やご質問はございませんか？

委員全員：なし。

委員長：それでは先程事務局の方で、7ページ以降については触れなかったように思いますが、それについてはどうでしょうか？

事務局：7ページの庁舎の規模については、このまま載せるということではなく、事務局の方で必要な部分だけでよいのかなと思っていますので、その辺は後で整理させていただきたい。また、8ページの合併特例債の2の(1)財源内訳については、前回はっきりしていなかった部分で、A案の本庁舎改修計画の経費に現本庁舎の設備等を改修する経費も含まれていることを確認しましたので、B案の新統合庁舎計画の約半分の経費となることとなります。ついでに9ページの整備手法・事業スケジュールの検討についてですが、整備手法の一つとして民間の資金を活用するPFIがありますが、庁舎建設において導入された実績がないので、スケジュールも含めて次の基本計画の策定の際に検討することとしたい。この素案からは外したい。あと財源としていきなり合併特例債が出てきているので、いろいろ検討した結果、最も有利な合併特例債の検討に至った旨を文章化し載せたい。

委員長：7ページから9ページまで事務局からざっと説明がありましたが参考までにこれをつけましたという話でしたが、みなさんいかがでしょうか？ご納得いただけましたでしょうか？よろしいですか？

委員全員：はい。

委員長：それでは案件(1)前回までの整理については以上で終わります。続いて本日最も重要な案件となります(2)建設場所の要件について事務局より説明願います。

(2) 建設場所の要件

事務局説明

- ・ 黒板に大きいおいらせ町の地図を貼っています。本日お配りしました「おいらせ町施設ガイドマップ」の地図を拡大したものですが見づらいなので、こちらのパンフレットの方を見ていただきたい。この地図は公共施設の配置状況や道路状況が分かりよいのですが、

土地利用の制限等については載っていませんので、今回はそういったものは考えずに、どういう要件がよいかみなさんからご意見をいただきたい。例えば国道沿いがよいとか、県で発表した津波の浸水区域は避けるといった程度の意見。又はこの辺のゾーン、この辺がふさわしいといった意見、この委員会で具体的にこの場所と決めるものではないので、あくまでもおおまかな方向性を決めるものです。

議論の前提として、先程、合併特例債のところでお話した、この本庁舎を活用して公民館機能も含む増改築をするというA案と、新たな場所に統合庁舎を建設するB案がありましたが、どちらの方向で行くのか決める必要があります。もし、A案という意見であれば建設場所の要件は不要となり、B案ということであれば要件を議論していただくことになります。意見が割れるようであれば両論併記で素案に載せることになりますが、まずはその部分を委員の皆さんから意見集約していただきたい。

委員長：そうするとA案とB案のどちらがよいか、先に聞いた方がよいということですか？

事務局：はいそうです。

委員長：みなさまそれでお聞きしてよろしいですか？

委員全員：はい。

委員長：先程事務局から説明があった素案の8ページ、2 新庁舎建設に係る財源内訳と将来負担（1）財源内訳についての表の中で、A案「本庁舎改修計画」、現本庁舎を改修して、現在の公民館の場所に併設して庁舎を建設するというものと、B案「新統合庁舎計画」、新たな場所に統合庁舎を建設するという2案が大きくあると思いますが、みなさんはどちらにご意見として賛成なさるのかお聞きしたいということなので、ご意見をいただきたい。

I 委員：今日来たのはこれを話せばもう帰ってもよいと思っていた。いずれにしても合併してもどうのこうのと言われているわけだ。合併検証もしないでこれをやっているから、本来は（合併前に）合併検証をやって庁舎をどうするといった話になると思うが、それはもう終わったからよい。これもA案、B案どちらでもよいが、やった後に前の役場の方が良かったとか前の方が良かったと言われないように、そういうことがないように強く意見要望します。以上、なし。

委員長：それはみなさん同じだと思います。そのために今まで議論してきたわけですから。他にご意見はありませんか？

F委員：場所も含めて新しくした方がよいと思う。少し壊して建て替えてとかではなくて、まるっきり更地に建ててそこに引っ越しするというのが一番よいと思います。

委員長：何か理由はありますか？

F委員：私はこれを補修しても今もう20数年、約30年経っているわけですから、だったら建築年数0年から始めた方がよいだろう。しかもこの基本理念4項目と整備方針の10項目が出たわけですから、これを満たすためには今の庁舎の改修では満たせないということです。

Y委員：改修することによって、例えば50年使えるということであればA案でよいが、改修しても10年くらいしか使えないのであればB案となる。

委員長：10年ではないと思うが事務局どうですか？20年近くではないですか？

事務局：建物の耐用年数はコンクリートのもので50年とされていますので、本庁舎が今30年くらい経っていて、あと20年となりますが、設備をそっくり更新すれば建物自体としてあと20年は使えるということになります。

委員長：ただ暖房設備等がかなり老朽化しているということですね。

事務局：その改修費用は入れてあります。

委員長：お二人の意見は分かりました。他の委員の方の意見をお願いします。

T委員：私は最初から合併した時点で統合庁舎を建てた方が良かったなと思っている1人です。ですから今までの話し合いや、職員の方の話し合い、議会の意見書等を見ますと、やはり合併特例債を使える期間内に庁舎を建設してほしい。そうでないとずっと建てられないと思う。改修ではなく新たな場所に統合庁舎を、旧百石地区、旧下田地区の町民どちらも納得する場所に。

委員長：3人同じご意見が出ました。

K委員：私も新しい場所に建てることに大賛成です。新庁舎の基本理念を最大限活かすためには。

委員長：福原委員と同じ意見ですね。

I委員：建物が持つか持たないかの耐用年数の話だが、場所が変わった場合に、町民の方々が例えば旧百石町で100年、この場所で用事を足してきた人がどう思うか？

委員長：I委員はA案とB案どちらの意見ですか？

I委員：どちらとも言えない。どちらかに決めなければならないのか？

委員長：一人ひとりどちらなのか意見を聞いていかなければならないので、他の方のご意見を伺います。R委員どうですか？

R委員：私もB案の新統合庁舎、F委員の意見に賛成です。というのは本庁舎の耐用年数もそうですが、青い森鉄道で分断されており、何十年かかっても都市計画道路だということで、鉄道を越える橋を架けるとかトンネルを作るとかの話まであったのですが、それはできないということで、道路事情とアクセスが悪いという面から、この役場庁舎の場所が位置的に新しい町としてどうなのかということを含めて、町のシンボルとなる合併後の施設としては別な場所に建てた方がよいと思う。昔聞いた話で秋田県ですか、庁舎を移転する際に畑のど真ん中に移転して、今はそこが立派なまちになっていると聞いたことがあるのですが、同じくおいらせ町もまちづくりをするのであれば、それぐらいのインパクトを持ってまちづくりをした方がよいのかなという意味も含めてB案。経費はかかりますが、そういうことで合併特例債というのも交付税として70%補助金があると同じなので、自分の家を建てる時も財源がないと建てられないのと同じで、いましかチャンスが無いという思いです。

委員長：同じB案の意見ですが、現在本庁舎がある場所ではちょっと問題があるのではないかというご発言がありました。それは新しい意見でした。それも含めてB案に賛成ということでした。S委員、N委員どうですか？

S委員：私もB案です。A案をやったとして、前からずっと言っていることで戻ってしまうのですが、ランニングコストを削減する場合、A案の庁舎、前あったものに対して設備を投下しても限度は見えている。新しくして、それに対応した庁舎でしっかりやった方がランニングコストは低減できる。場所についてはいろいろあると思うが、建て替えた方がランニングコストが低下するのでよいと思いB案です。

N委員：みなさんの意見で全て私の意見が取られましたが、私もB案です。R委員が言ったことは、非常に重要なことだと思う。確かにアクセスの面でこの庁舎の場所は不備があるかなと思う。R委員の意見に賛成です。

M委員：S委員がおっしゃったとおり、ランニングコストを考えるとそのとおり（新築）で、友人などに聞いても、私もずっと前から言っているのと本当にそのままなのですけど、家を建てるにしてもやはり資金がないとできないので、タイミングとしてはよいチャンスだと思うのですが、100万円が200万円になる、倍になったり半分に

なったりするのではなく、億のお金が倍になったり、半分になったりするかと思うと、やはりあまりコストをかけずにだけでも新しくして、ランニングコストを減らす方法はとてもよいと思うので、先程までの話で、立地場所として今の場所はちょっとという話だが、確かに不便であるが端っこの木ノ下から来ている私ですが、それでも20分もかからない、10分ちょっとで来られる範囲で、私の知っている人から聞いても北部の公民館で住民票が取れたりできれば特に困らないと、それに何億ものお金が使われるのであればどうだろうという話をする方が多くて、以前の事務局さんの話で住民票などはそのうちコンビニでも取れるようになることが考えられますとの話でしたので、わざわざ本庁舎を何億もかけて移転させる必要がどれくらいあるのだろうか？すごく大きな町で遠くから来る人が本当に遠いとか、すごく大きな町で財源もこれから増えるかもというところであれば、億のお金も小さく感じるかもしれません、おいらせ町で億は大変なことなのではないかなと、予算のことは全然分からないので何とも言えませんが、B案だけでもあまりお金をかけずに済ませる方法を探っていただきたいと思います。

委員長：B案にはB案ということですか？

M委員：みなさんの話を聞いていてなるほどと思うのでB案です。

H委員：いろいろ話を聞くと建物は寿命というのがあるので、物理的な問題としてやはり新築というのはみなさん共通な意見だということで認識しています。あと敷地も含めると、いわゆる既存の町の敷地であれば、土地の買収費用が掛からないので総額として抑えられる。町民からの意見としては、できるだけ余分なお金は使いたくない。建物は新しく建ててもよいけども、また新たな土地を買収するために、倍以上のお金を使うのはちょっと納得いかないと、そこら辺をどうするのか？利便性を重視するのか？それとも波及効果というのか、僕は2通りあると思うが、畑の真ん中に作ってそこに将来の新たなまちを一から作るという話と、もう一つは旧百石町なり、旧下田町の中心商店街付近が衰退しているというところで、あえてそこに土地はちょっとは高いかもしれないが、そういう施設を投入して、その商店街も含めてまちを再生する起爆剤というか、民間投資をまた呼び寄せるような、あえてそういう用地に持っていくのか、そうすることによって総額は少し大きかもしれないが、その後、民間投資を呼び寄せることによって波及効果があって、ある意味では経済効果が高まってよいと、そこら辺をどのくらい町民を説得させるだけ

の材料とかそういうものがあって、話を進められるかというところにかかっているのかなと思う。

委員長：H委員がおっしゃった部分で、町としての資産価値、土地の評価額が上がれば当然収入が増えますよね。そういう部分での収入も見えておかないと、ただ建物を安く建てましたというだけで、経済的に抑えて安く建てましたというだけで、ランニングコストがかかるのであれば大して意味がないことですし、また資産価値が上がらないのでは意味がないことなのですけども、いまH委員がおっしゃったことは、R委員がおっしゃったこととも共通すると思うのですが、町としての財産、土地、そして資産という部分を考えると新天地に建てても、その周りが活性化されて、商業地なり、家が建ったりという形で、その付加価値が高まっていけば町としての収入が増えていきますよということですね。そうすると建物を建てる分にかかった経費の何某かを担っていける部分というのが早まるのではないかとちょっとお聞きしたのですが、U委員とI委員がまだなのでどうぞ。

U委員：いま、みなさまの意見を聞いたのですが、私も百石出身なので分庁舎が便利だと思っていて、合併してからかなり年数が経つのですが、慣れてしまえばたぶん新たに別な場所のB案としてやって、先程F委員がおっしゃったように、町のコンセプトや基本理念にあるとおりにこれを全部網羅できる新庁舎にした方がよいのではないかなと思う。この辺は鉄道の利便も悪いし、とにかく用を足すとなれば車になるので、ここの場所は駐車場も満車になる時があるのを何回も見たことがある。だから常に車で来た時でも、自由に駐車場も確保できるようなことも考えれば、新たに広い用地を取得して新庁舎を建てた方がよいと思う。

委員長：B案でよろしいですね。

U委員：はい。

委員長：それでは最後にI委員お願いします。

I委員：二者択一なのか？言われはそれぞれある。百石も下田も100年以上やってきた場所、理想的には真ん中だが、果たして町民が馴染むかどうか。先ほども言ったが合併してもいろいろ言われている。庁舎もこうなったら悪くなったと言われないようにすべき。

委員長：A案とB案どちらですか？

I委員：私は古い人間でしかも役場にいたものですから、以前に中央公民館の北側の、現在の駐車場部分を新たな公共施設を建設するために取得した経緯があるので、この場所に建て替えて大丈夫ではないかと

思う。

委員長：A案ということですか？

I 委員：A案でも足りると思う。面積からいっても、ただ、建物の耐用年数からいくと、まっさら新しく建てた方がよいと思う。今まで 100 年も使ってきた町民、住民が果たして納得するかどうか、また納得してもらえる場所を選定できるかどうかにかかっている。

委員長：私も意見を言わなければならないのかな？大体わかると思うのですが、別に多数決を取ったわけでもないが 1 人がA案で残りはB案という結果だが。

F 委員：I 委員もA案ではなくて、B案で新築は構わないけれども場所はここだよということなのではないか？この建物をずっと使うということではないでしょう。

委員長：いや、可能性を残しましたよ。

I 委員：場所は全く新しく建てると、旧百石の分庁舎でも本庁舎の場所では建たないでしょう。

委員長：そういうことを聞いているのではなくて、A案ですかB案ですかと聞いているのだからご回答ください。質問に答えてください。

F 委員：新しくするのか。これを直すのか。I 委員は新しくするのはよいがここの場所に建ててほしいということではないか？ここであればよいということ。

委員長：ここの場所であればB案でもよい。I 委員はここの場所に新しく建てるということで、条件付きB案ということではよろしいですか？

I 委員：はい。それでよいです。

委員長：みなさんはどう思ったでしょうか？事務局、今のはB案でよいでしょうか？

事務局：場所次第であるというお話だと思うが、旧両町の住民がそれぞれ納得できる場所であればどこでもよいということで聞いていた。

事務局：私はまだ前任を引きずっているので先に話をさせていただきたい。今のI 委員お話は心情的には非常によくわかりますし、たぶん現実にある方向に決まってそっちに行くとなった時に、町民の中にはいやそれは駄目だという町民もこれは必ずいると思います。ただ、それを全て納得、満足させる答えはたぶん無いので、重点をどこに置くか、これからのまちづくりをどう考えるかという部分で、そういう思いはあるけれどもやはりどちらかに決めなければならない。おそらく答申をもらえれば町長は政治的にそういうものを判断してどこかに点を打つという作業をすることになると思うので、意見は意

見として、まずそういうことは当然あるだろうなと思いますので、ただ折角こういう場でいろんな条件を満たしながら最適解を見出すためには、もう少し心情的な部分ではなくて、これからのまちづくりをどうするかという部分でお考えがもしあるのであれば、出していただければ本当はよいなという感じはします。

H委員：特にA案に関して、ある意味では一つの条件としては、この建物が使われなくなったら建物は壊されてしまうのか？ちょっと勿体無いのではないかというものもあったり、役所的な機能ではなくても、公的な機能がまた無くなってしまうというのもちょっとさびしいなというところがあるのであれば、この庁舎の後の利活用的な検討委員会を作って、まだあと少なくとも20年位とりあえずは使えるかもしれないというのであれば、そういうものも含めて庁舎移転とか、新天地を求めるといふ形にすれば、町民に対しても納得は少し得られるのかなと思う。百石側の分庁舎の方も相当なお金を費やして耐震補強をして、そこを5年で壊すのは勿体無いと思うので、それこそ今求められている中心商店街の活性化のためのコミュニティ的な機能を新たに投入して、その建物は少なくとも10年、20年は使うと言えば単なる税金の無駄遣いだとは言われないうと思う。

委員長：他によろしいですか？それでは一つ越えました。A案、B案については以上で決着ということにさせていただいて、統合庁舎を新しく建てる場合にどこの立地がよいのか？その要件について、皆様にお伺いしたいと思います。一人はつきりしたのは、(市村)委員は現在に近いところがよいとおっしゃいました。それ以外の方はどこかといったことを発言されておりませんので、順番に手を挙げてどうぞ、ご発言ください。

Y委員：私は新しい場所を決めるのに5つくらいの考慮点があると思う。一つは交通の便ということで、幹線道路や駅から近いところがよいのではないかと思う。幹線道路は国道でも県道でも構わないがその近く。いま交通弱者に対してバスの便があると思うので、新しいところが決まればそこにバスのルートを新たに設けるとなると、バスを利用して通勤通学それから病院等を利用されている方がいると思うので、突然ルートを変更してしまうと影響が出てくると思うので、その辺まで考慮して場所を決めていかなければならない。それからおいらせ町の外れの方に建ててもおかしいし、非常に不便になってしまうので、できれば中心部ですね、どちらかと言えば人口密度の多いところというのが一番理想的だと思う。それから、土地を新た

に取得するとなれば当然コストがかかるので、極力安く取得できればそこがよいと思う。先程K委員がおっしゃったように本当に町の中心部に建てて、ちょっとコストはかかるが将来の街の活性化を図るという目的があれば、多少コストが高くなっても仕方ないかなと思う。それから防災ですね。津波を考えると川から離れる、それから海岸線から離れるということがあるが、あと考えておかないといけないのが液状化ですね。沼地とか埋め立てしたところに建てると液状化が起こる可能性もあるのでそういう点も考慮しないとイケない。それから後は庁舎だけを建てるのか？周りに付帯施設として公民館とか他の施設も集約するのか？逆に公共施設が建っているところに庁舎を建てるのか？そういう点も将来的に考えているのであれば考慮してほしい。そういうことで5つくらいのことを考えて、いくつかの候補地を挙げて、それに重みづけをつけていって、その中から1つか2つをこの会議の提案としたらどうかと思う。

委員長：Y委員自身はいま5つの項目をお話しになった結果、どの辺がよいと思われますか？

Y委員：現庁舎があるところですね。本庁舎、分庁舎、それからあとは公園ですね。公園の敷地がある辺りはみんなが集まりやすい。バスのルートもあるだろうし。

委員長：公園というのはどこの公園ですか？下田公園？

Y委員：下田公園もあるし、いちよう公園でも、どちらがよいのか分かりませんが。

委員長：いま言われたのは4つの場所ですよ。その4つを結んだ中の近い場所ですか？かなり広いエリアとなりますが。

Y委員：ある程度の広い場所が確保できるとなると今の4つとなる。後は下田ショッピングセンターの駐車場か？それくらいしか浮かばない。

委員長：Y委員はいま具体的な場所はおっしゃらなかったわけですが、重要な5つの項目を出していただきました。①アクセスや利便性、②ある程度人口密集地区、過疎なところではなく中央に近い部分、そのエリアの真ん中に近い部分が、利便性があるだろうし人口も集まっているのではないかと。③あと安くできないと困る。土地が高くて困る。④防災上優れていないと困る。⑤周辺に他の施設が張り付く要件を満たすのか？その辺まで考慮に入れるのかどうか？⑤は考え方によってはいろいろあると思うが、少なくとも④はみなさんも共通でしょう。これ以外にこの要件は必要でしょうかというものがありますか？逆に場所ではなくて。

F委員：もちろん具体的にここという提案をして（もらって）、それをよいか悪いか。今の条件に合わせるというか。百石と下田の間、どちらかに偏るわけでもなく、一番広い土地がとれる。いま道路が新しくできたので、ジャスコ（イオン下田ショッピングセンター）から間木（下田）公園に行くあの一角、間木公園の一角または間木公園からジャスコに行く、大石産業のところから道路ができましたので、あの沿線沿いが一番よい場所だろうと思っています。（福原）個人としては古間木山に庁舎を建てれば一番よいのだが、家の隣にというような勝手なことは言えませんので、やはりあの辺が妥当なのだろうと思う。しかも土地もそんなに高くない、平地だ。後から公民館など何でもきやすい。諸々条件を考えて、I委員が言っていた百石と下田の融和がどうという部分に関しても、一番妥当性がある場所なのだろうと思っています。

委員長：大変インパクトのあるご発言ありがとうございます。他に違うところがあればお願いします。

M委員：私はさっきも言ったとおりここら辺、何か中学校の跡地があって土地はいっぱいあるという話があったが。

F委員：ここは小学校だった。

M委員：土地がいっぱいあるという話を聞くと買わなくても良くて、私の中では、この特例債を利用しても不足部分を借り受けして建てるのですよね。新しく土地を買って、インフラ整備をして、外構などの整備もして、いっぱい借りたものを返すために、20年とかで返す間に、予算はもうだいたい決まっていて、一体そちらの借金を返す部分のお金を払うことによって、一体何が削られてどのくらい町民の生活に響くのだろうか？いま子供の医療費が無料で大変よい生活をさせていただいていますけど、そういうものが全部切られてしまうとか、何某かそっちに充てないと駄目ですよ。何が充てられてどれくらい私たちの生活は変わるのだろうか？すごくそこが不安になっていて、その不安が大きすぎるので、立派な庁舎や、先程の10項目にあてがうようなすばらしいコンセプトに沿った庁舎は魅力的ではあるけれど、多くの町民はこの庁舎、新しい庁舎に足を運ぶ機会は1年に1回とか2年に1回しかないかもしれない。だとすれば普段の生活が今までどおりである方が余程ありがたいのではないのかなと思う。借金を背負うことによってどこがどのように変わりますかね？そこは全く課が違うからあれですけど。

F委員：たぶん変わらない。これの支払いに充てる分が減れば、他所の支払

いに充てる借金を作ることになると思います。役場や議会のシステムはそうなっているから、だったら要らない借金を作るより庁舎の借金の方がまだましでしょうと私は思う。

M委員：何にも借金をしない生活は駄目なのでしょうか？

委員長：いまM委員もちょっと決めてかかっていますよね。その分を補てんさせられるのでしょうと、我々の税金をそっちに持って行かれると、そうではなくて事務局に答えられるのであれば、決まっていないですよ。

事務局：町では財政計画というのを作っている。それは一応10年先までいろいろな事業メニューを挙げてそれを積み上げて、収入はこれくらいで、支出はこれいくらと、当然かかる経費は借金とか人件費とか必ずかかりますから、そういうものも含めて算定はしています。たぶん変わらないでしょうというのは、いまのサービス水準を落としてそれを庁舎建設に向けるというのは、いまの時点では想定していません。ただ世の中どうなるのか分からないので、交付税がまた大量に減るとかそういう場合はいろんなところにしわ寄せは当然行きますが、いまのまま行くという前提であれば、今のサービス水準は維持するということが前提で計画はできていますので、それを削って庁舎に回すということはありません。あとはその計画の中にはいわゆる投資的経費といわれる道路とか様々な公共施設に向ける部分も一定額をきちんと確保して計画ができていますので、当然それらも、いま想定されるものは織り込んだ計画になっていますので、ですから当然それは庁舎にかかる分が出るのが想定されることによって、道路にかかる分は多少は減る可能性はありますが、先程言った通常住民にサービスをするような分を削ってやるというような計画にはなっていませんので、そういうことは心配要らないかと思います。今の条件であればですが。

M委員：とても普通の家計の感覚でいくと納得いかない部分が大きくて、学校のカーテンがボロボロなのに庁舎だけきれいとか、道路に穴が開いているのには庁舎だけきれいとか、何か億のお金を使うのをちょっとずつ使い、あちこちの集会所をきれいにしあげたりとか、そういったところに回してあげた方がみんなが喜ぶのと思う。主婦的感覚からいくと納得いかない。

事務局：分かります。でもその部分に関しては、どこの部分に投資をしていくか。庁舎も、要するにM委員がおっしゃっているのは、必要以上に華美なもの等に投資することはないということですよ。庁舎は、

まさかプレハブを建ててそこに入っているということではないですよ。庁舎はやはり必要ですよ。庁舎が豪華になった分、そっちが削られるという話にはたぶんならないと思う。豪華か豪華じゃないという判断基準は人によって様々でしょうから、要するにM委員みたいな主婦感覚からいくと、当然そこまでのグレードでなくても用は足りるのではないかという考え方も確かにあるとは思いますが。ただそれを一つひとつみなさんから聞いてこれにしますという決め方はしませんので、やはり建設する際に標準的なものという単価や規模があるわけですから、そこは考慮されて建設されていくものと思っていますので、庁舎も必要な公共施設の一つであるということをご理解いただきたいと思っています。

M委員：庁舎を普通に立派に、必要な分、職員の方にとっても使いやすいものだったり、来庁してよいものだったりというのには別によいのですが、移転にこんなにお金がかかるとしたらどうだろうか？だからここで、新しくどこかに建てて駐車場を整備する分のお金の一部で、ここから国道までもう少しきれいに道路を、一本道を作るとかよいのではないか？私の中では新しい場所にすることがどうにも納得いかない。

委員長：まずは当面の出費なり金額をできるだけ抑えたいというのがありますね。

K委員：おいらせ町を全般的に眺めますと東西南北に非常によい集落があるのですが、将来のまちづくりを考えれば、中核となる庁舎となれば中央がよいと思う。全ての中央ですね。地図のオレンジ色の⑥の周辺、向山のあたり、そうすると向山駅も使えるし将来は地域の活性化にもつながっていくと思う。そして予算の限界もあると思うが、できれば精一杯の予算を使って立派な庁舎を建てるべき。シンボルとなる庁舎ですから、もう旧庁舎とかを一切考えずに合併後のシンボルとなる庁舎を建てるべきだと思う。

委員長：K委員のお話分かりました。向山の駅の近辺ですか。いや⑥のところアグリの中の辺ですか？

K委員：そのもう少し上でもよいが、地域の中央に建てて、道路とかそういうものは新しくどんどん作ればよい。そうすれば地域が発展していくと思う。

委員長：分かりました。地図で見ると確かに中央にあると言えます。他にご意見は？F委員がおっしゃったのは下田公園からイオンに抜ける道路といますか、角弘さんの裏を通る道路がいま立派にできました。

その道路を活かしてあの周辺に建てたらどうでしょうかというご意見。それからM委員はやっぱりとにかく抑えたいので、買わないでこの辺で済むならこの辺と、それはI委員もある種かぶっていますね。そしてK委員は真ん中辺にどんと何も無いところに建てたらどうか、駅の周辺かもしれませんけれども、アグリのリさんとかあの近辺とかをおっしゃっています。R委員どうですか？

R委員：I委員の意見、ここに携わった人ですから、この場所から小学校を移転する際に地元からむしろ旗を立てられたという経緯があるからだと思いますが、どうしてもこのエリアの人は移転するとなると反対しますよね。いまF委員が言っている場所は旧百石町の人もこの辺の人も納得できるエリアなのかなとは思いますが、北部とか旧百石町の海岸線沿いの人から言わせればどうなのかなと、そういう意味ではいまK委員が言った本当に別な場所が考えられるのかなと思う。個人的には下田公園の中にイベントホールとかいろいろあるのですが、先程、液状化の話がありましたが、あの辺は老人福祉施設とかいろいろな施設が建っていますが、いまだかつて地震で壊れたり、液状化になったりしたという話も聞かないので、あそこの環境のよい場所に、バス路線も当然取れるし、環境のよい場所と、あそこにいま災害の関係の施設を建てようとしているのかな？防災の面でもそういうことも含めても、朝晩の交通状況、八戸に通勤する人が多数通っていることから、かなり利用されているという部分もあり、用地も購入しなくても町の土地があそこにあるなど、建築できれば用地買収費が浮くとか、いろんな部分でよい場所だと思うが、果たして住民の納得を得られるのかが問題だが、F委員の意見と2つ。個人的には向山の田んぼの中の方がよいが。

委員長：N委員どうですか？

N委員：場所はちょっと決められない。私は北部に住んでいますので、個人的には北部がよいのだが、先程、M委員が言った意見も一理あると思います。今さらなのですが、おいらせ町庁舎検討委員会なのですが、庁舎建設のお金があったら鶴久保に下水道を通していただきたいとかいろいろありますが、その話をしてしまうと検討委員会になりませんのであれなのですが、どこに建ててもみなさんが賛同する場所はないと思うのですよ。やはりみなさんそれぞれ住んでいる場所が北から南まで面積も広いですし、距離もあるので、南に住んでいる人は南がよいし、東に住んでいる人は東となると思う。ただ先程のコンセプトの10番にあるように「防災の拠点となる庁舎」とあ

りますので、Y委員が言ったように海岸沿いとかは避けた方がよいのかなという気がします。ただどこということになると申し訳ありませんが私は決めかねます。すみません。

委員長：分かりました。唯一町に住んでいらっしゃるH委員にお聞きしたいと思います。第三者の目からここがよいのではないかという意見をお願いします。

H委員：逆に情報がいろいろ入って来ると迷ってしまう。今日はあえて下田のジャスコ側からではなくて、住宅街の中のかねくねしたところを通ってきた。道路が狭くなりますよといったところを徐行しながら運転してきた。車でのアクセスから考えれば一番利便性が高いのは下田のジャスコのちょっと西側というか、いま工場があるところですか、前々回位に走った時に右手のちょっと高台の土地をうまく用地買収できれば、商業施設の立ち寄りとお互いの相乗効果があつてよいのかなと、あとは公共交通、バスが走っているルートで今後、高齢者の方にも利便性があつてよいのかなと、ちょっとピンポイントな話をしてしまいましたが、でもそこに庁舎が建つことによって周辺が、また民間投資みたいなものを呼び寄せることがさらにできると、初期投資は高かったとしてもその後の民間投資がこれだけありましたよという説明ができれば、用地買収で多少お金が掛かってもよいのかなと思う。逆に変に田んぼのど真ん中に建てたとして、庁舎だけがぽつんと建っているだけで10年、20年そこに何もできなかった場合は、庁舎は建てたけれども何の民間投資も呼び寄せない、ただ建てましたというだけで、あまり経済効果が期待できないものは避けた方がよい。庁舎を建てるということは、庁舎の使い勝手とか庁舎を使う職員のためもあるのですが、町全体からするとその波及効果、例えば山形県は古い庁舎を文化財として保存するため、新たに郊外に移転新築したが、そのせいで中心街は廃れてしまって、駅前の居酒屋は賑わっているけれども、花笠祭りをやる中心街のところは3、4年ほど前に行ったところ、午後7時頃には真っ暗な通りになってしまっていた。そういうことはなるべく避けた方がよい。庁舎を移転する場所は、ここは商業施設があまりないと思いますので下田のジャスコの隣か、あえて商業をやっている商業地域や商店街のところ、通りに用地を買収して建てるか？八戸市の場合は庁舎ではないが地域観光交流施設、八戸ポータルミュージアムはっちを建ててから、ブロックは一つ隣の街区になりますがダイワロイネットホテルが出来たりと波及効果があつた。それがおい

らせ町に期待できるかどうか分かりませんが、そういう波及効果があるならばよいのかなと、そこら辺は正直駆け引きということになるかもしれませんが。

委員長：H委員も正直迷ってらっしゃるようでしたが、凝縮して話をすると、一点目はイオンの周辺、しかもF委員が言ったような角弘の裏側、あの周辺、道路は一本裏側になるがアクセスはよいでしょう。二点目は商店街ということは百石の本町商店街ということですか？あの辺は防災上危ない、津波が来た時に危ないですよ。F委員の意見に近いということで、他にご意見ございませんか？

T委員：下田公園の中に、先程、R委員がおっしゃった何か防災の倉庫みたいなものはもう建てたのですか？

事務局：建てました。

事務局：備蓄倉庫です。毛布とか食料品とかを備蓄するプレハブの倉庫です。

T委員：私も旧両町の利便性を考えると、まず一体化を醸成するためには、最初は場所なのですよね。みなさんが納得する場所でなければ揉めると思います。そういうことを考えると、下田公園の中にもし建てればよいが、公園が狭くなるわけですよね。そうすればF委員のお話もよいのかなと思ったり、ちょっと迷いますね。45号線から入りやすいですよね。あとK委員がおっしゃったのは、これからのまちづくりでどうにでもなるような場所、あそこにお墓がちょっとありますけど。

委員長：それについてはH委員がおっしゃったように、庁舎を建てただけで波及効果が出てこない可能性が十分あるよと苦言を呈しているといったら語弊があるが。

K委員：それに反論ですが、経済効果はあると思う。これから庁舎が建ち病院等も建てば、必ず食堂等も張り付き経済効果が出てくるものと思う。これからはやはり新しいまちづくりに持っていかなければならないと思う。本当に経済効果を考えるのであればこっちの中央の方がはるかによいと考えます。

委員長：分かりました。S委員どうでしょうか？

S委員：前に出ていた話で、もともと秋田出身なので、何で秋田でそういう畑とか田んぼに庁舎が出来たかという経緯は、あそこはもともと調整区域で思惑でいろいろ開発できるのでこっちに移ったと、町衆があまり言うことを聞かないのでそっちに流れていったのが本当のところですよ。あと庁舎が移ったから地域が栄えたということではなくて、病院でした。病院が鍵です。病院だと滞在人口も多いし、関与

する人が多いので、畑の真ん中に大きい病院が出来るとその周辺にそれを狙って、まるで八戸市の田向地区のジャスコのように地元スーパーが出たりロードサイドショップが出たりということで複合的にまちが広がっていった。結果どうなったかという中心商店街の人たちが何で自分たちの方に作らなかったのかというすごい苦言が後から来たのですが、そういう経緯があるし、病院とか複合的なものと、こうなってくると庁舎プラスまちづくりの話になるので、私は元々こっちの人間ではないので、嫁さんはこちらの人間ですが、そこはあまり強く言えない部分があるのですが、みなさんが納得して、公園地だったりすれば確かにあったらきれいだというのと、ジャスコだったりその後ろに複線的に町ができて、それで東西もう少し行き来できる道路等ができたらいいのかなと思う。あともう一点は、津波の防波堤として有料道路の使い道があるだろうなど、これ仙台でしたか、仙台の東道路が一旦それを止めたという経緯もあったので、この中でまるで輪中のようになって確かに強くなるからと、それくらいですね。

委員長：ありがとうございます。具体的に言えない方も結構いらっしゃいます。Y委員はよろしいですか？前回の話に補足して、まだ場所は言えないということでしたが。

Y委員：第一候補としてはお金をほとんどかけないでということであれば、町の土地、それがどこか具体的に分かっていないので、役所が建てられるくらいの広い土地があるのであればそこがよい。

T委員：下田公園の中にあるのですか？

事務局：イベントホールの北側、東側にあります。

事務局：かなりの広い土地があります。山を削ったところに新幹線の残土をまた盛っています。

Y委員：整地しないで済むという土地であれば広い公園とかですね。そういうところが第一候補ですね。下田公園でもいちょう公園でも。

I委員：地図から行くと一番よいのが、豊という字のところになるが家もなく全く何も無い場所だが、公園だとすぐ近くに沼地があるので将来の波及効果は宅地造成にしても期待できないと思う。

委員長：立地というのは皆さんが考えるよりももっと大事なものです。それこそ何十億ものお金を投資するのに、安い土地をとるか、ある土地をとるかそういう次元の話ではないと私は思います。

委員長：そちら側にいたかったのですが、やはり安さだけでは波及していかない。H委員がおっしゃっていたではないですか。田んぼの中にぼっと建てても寄っていかないですよ。

H委員：おいらせ町の職員の方はお昼どうやって食べているのか？いま弁当が多いと聞きましたが、八戸市役所では一時、昼休憩が50分になってしまって、周りの飲食店がパタパタと店が閉めてしまった。八戸市役所は外食される方が多かったと思いますが、そこに就業する人口が増えると外食産業とかが潤ったり、市役所で時間を戻したら店が開くようになった。ジャスコの隣となるとジャスコの飲食関係のフードコートとかに食べに行けるでしょうし、それを目当てに近くに飲食店が張り付いたりとか、そういう波及効果があると思う。

M委員：私は大会等でよくこの交流センターに来る機会があるが、どうして役場があって体育館もあるのに、食べ物屋さんが野ざくさんしかないのだらうと思う。もしも役場があって波及効果があるのであれば、ここはもっと活性化されているはずなのに、現状としてあまり活性化されていないのであればどのくらい、先程、S委員がおっしゃったように病院とか他の関連施設も建つのであれば、ランチ食べる人も増えるでしょうけど、役場しかないとか波及効果とかもどうかしらと、ヒマラヤさんと野ざくさんしかない。

H委員：みんなお弁当で済ませるのか、外食するのか、そこらへんが、逆に言うと町長さんがそうではなくてちゃんとごはんを外で食べるように波及効果を上げるように言うとか。

事務局：いま波及効果の話は本当に私はこのチャンスに真剣に考えなければならぬと思っています。まず百年に一度あるかないか、こういう庁舎を移したらというのはチャンスです。やはり最大限いろんな部分にメリットが及ぶような考え方をしないとイケないと思う。現実的にここがという話は、本庁舎にいる職員は70、80人、分庁舎と分散しているので統合庁舎になれば倍になります。ですから、単独であるよりはそっちはもっとインパクトがあると思います。もともと旧下田町役場の周辺には商店街がないのですよ。それで無いからみんな弁当を持ってきてというのが、それが悪循環なのかどうか分かりませんが、それが周辺の方に流出するパターンがずっと続いてきたのでこういう形になっている。逆にだからこそ核となるエリアを決めて、そこに庁舎を中心に据えて100年の大計でやりましょうという発想も私は必要かなと思っています。

- M委員：であればコンセプトに盛った方がよいですね。コンセプトには「防災の拠点となる庁舎」というふうに書いてあるので、何かがあった時に歩いて避難できる場所の方が適当であって、ここにもう1個、11個目を盛って、そういったまちづくりを考えられる場所というようにしないとちょっとずれてしまうかなと思う。
- 事務局：一応5ページの①「合併後の新たなまちづくりの中核となる庁舎」がそれを含んでいる。具体的には書いていないが、事務局としても町長と打ち合わせする中ではこれをまず一番に考えましょうというのが大前提で、あとはその他必要な機能はこういうものだよという部分で皆さまの意見もいただきながらこういうふうに整理されているわけですけども、そういう形で考えていただければなと思います。
- R委員：おいらせ町の特徴は、昼の人口が少なく夜人口が多いということが、先ほど言っていた経済の波及効果などいろんな意味ではそうなのかなと思う。三市の間にあるという交通の便の良さが経済面では逆に三市に散らばってしまっている。働きに行く人が朝起きると三市にばらばらに散らばっていなくなる。夜は帰ってくるという、本当に前から住民の立場からいくと、住みやすい町が旧下田町だと、災害もないし何もないしということで、将来的に町は住居地域ということを目指したというのがあったような気がします。そういう意味での町になぜ飲食店が無いとか食堂が無いとかいうのも含めて、そういう町だったのかなと、旧百石町には飲食店街とか、六戸町にもありますよね。スナックとか何もない町が旧下田町だったのかなと、いま言っているのがほとんどそういうエリアがそうで、商売が栄えないエリアだったのかなと、それも含めて場所の選定も考えなければならないのかなという気がします。
- 委員長：先程、S委員が秋田地方で田んぼの中に庁舎ではなくて病院を建てたらその周辺にいろんな活性化するような施設ができてきたということをおっしゃいましたね。それは八戸市の田向がそうなのですが、やはりそれはおいらせ町の場合も病院はあるのですが、防災上あそこは危ない拠点で、耐用年数や耐震性から言っても危ないということで、いずれどうにかしなければならぬ建物だと思う。その際にもしかしたら新庁舎のそばに移転する可能性が出てくるわけですよ。ただ中途半端な規模だと失くしてしまえと診療所になる可能性も無いとは言えない。現段階ではどちらとも言えない。ただそれが新庁舎が移ったところに適地となるような場所が空いていれば、そこに公民館のようなものだったり病院だったり何か張り付いていける可

能性が生まれてくるわけだから、それと例えばイオンのようなところと近いところにあると経済効果というか、相乗効果が生まれてくるのだと思うのです。

H委員：初期投資を抑えたいという考えと、いや初期投資が多くてもその後の5年、10年で回収できるならば別に問題ないのではないかという考え方があると思う。ただ不安は5年、10年でそのシナリオで果たして本当にちゃんと活性化や経済効果があるのかというところをきちんと説明できるかどうか、たぶん一番重要だと思います。

委員長：たぶんラーメン屋さんなら味が良かったら1軒あればいいといくかもしれないけど、そこに連なって来るかどうか、それから先2軒、3軒並んでくるかどうか本当に重要なことですから、立地というのはそれくらい、ショッピングセンターの中でも立地が悪いと実力があっても退店しています。立地がよいところにたまたま出たお店がずっと20年間あそこで商売していますということがあります。私もその中の一人ですが、それを考えるとやはりこの立地というのが本当に真剣に考えていただきたい。ぜひそれはみなさんに思っていたいただきたい。もう一度考えていただきたいと思います。すみません余計なことを。

H委員：おいらせ町も腹をくくって新庁舎を作るということであれば、将来、本当にそこを核として町を作っていくのだと、だからその周辺は土地区画整理事業を行うなり、そうするとまさか都市計画区域外に庁舎を建てることはたぶんあり得ないだろうなという話になってきたり、場合によっては全域を都市計画区域に編入するという話でやっていくとか、そういう話もリンクしてくると思います。

事務局：いまH委員からも委員長からもお話がありましたけども、確かにいま庁舎の整備の問題を話しているのですが、関連して広がっていく話の方が大きい話になっていくので、これは行政の責任としてそのプランはやはり作っていかなければならないし、いまH委員がお話しした都市計画の話もおいらせ町の課題となっていますので、それは継続的にずっと取り組みが続いています。最初の方で話があった公共施設の再編的な話、先程の病院の話も含めて、それらも含めて今後町としてそういうプランを作っていかなければならないだろうという問題意識は持っていますので、ただ残念ながらいまその話をこの委員会の中で全てできるわけがないので、どうでしょうか付帯意見みたいな形でそれらも検討した庁舎建設をすべきであるみたいなことを申し添えればよいのではないかという感じがします。

委員長：今までの意見をまとめたいと思います。事務局まとまりますか。本来は座長がまとめなければならないですが、3つくらいに集約したい。

事務局：いまの意見をまとめますと、下田公園とか公園という部分もありましたし、ショッピングセンターから西側でも東側でも国道沿いで、しかも間木・百石1号線が通ったということで両側から出入りできる利便性もあるし、高台だということもあるし、その辺がどうかと、あとは本当に中心部、真ん中に新たにというのものもあるし、ただみなさん共通なのは端っこには、あと津波の浸水区域は避けるということで、あとは今後のまちづくりの部分で施設の再編成というのもあって、特に病院ですね。川沿いで低い土地ですぐ浸水するということがありますので、それを将来的に庁舎と一緒に並べるのかどうかも含めると、ある程度の規模の敷地を取得しておかなければならないということもあって、そういった今後検討すべき事項、庁舎に付随して今後のまちづくりをどうするか、庁舎を建てる契機として関連ある検討課題みたいなものは、先程、総務課長も言ったとおり、これに委員会の意見としてそういうものも今後検討すべきということを付記して報告する。それはそれで併行して話をしていきながら具体的に町としてどう考えるのかということで、病院とかも集中させようという考えなのか？新たなまちづくりで経済効果も図ろうとするのか？という辺りを検討する材料としてやっていくことになるのかなと思うので、ぜひこれに入れ込みたいと思っていました。

Y委員：分庁舎と本庁舎が別の場所に移るとして、いま分庁舎の周りには商店街があるわけですが、そうするとマイナスの面が必ずあると思うので影響度合い、このくらいダメージがありますよというのを検討項目の中に入れておくべきではないか？確かに移ったところに活性化してうんぬんというのは先が見えないすごい長い話だと思うので、ところが無くなるというのは即影響が出るわけで、こういう影響がありますよと、分庁舎の周りの商店街ではこういう影響が出るでしょう。この本庁舎ではこういう影響が出るでしょうということをやはりある程度明記して、そういうものを検討した結果、新しいところに決めたのですと言うことがよいと思う。

委員長：見積りというか、シミュレーションみたいなものがあってもよいのではないかということですね。影響度合いの、そういうことなので可能な限りで。他にありませんか？

S委員：付記として、最初の方で出た庁舎の跡地利用も入れてほしい。この頃、県庁が特に顕著にやっていますが県有財産の統廃合、2万カ所あ

った財産を4分の1にしようと、一番よい場所をむしろ民間に貸し出そうとか割り振りをしている。それも一緒に含めていただければと思っています。

事務局：中央公民館との関連もありますので、公共施設の再編として当然それは含めていく必要があると思います。

委員長：他にございませんか？あえてここという場所を限定はしません。みなさんのご意見を網羅した形でまとめさせていただきます。一つの意見というのは無理だと思います。ただ3つくらい出た意見のどれでもないという人はいませんよね？

I委員：それはない。

R委員：個人的希望として、庁舎を一つ建てたからといって経済的な波及効果が何もないと言っている部分もあるのですが、まちづくりを含めた付帯事項として、十和田市の官庁街通りとか、それを取り入れたのが六戸町だと聞いておりますが、庁舎を主体とした官庁街通りということで、病院とかいろんな施設を集中させれば波及効果が大きくなるのかなと思うので参考にしたらどうかという意見です。

委員長：そうですね。十分にあると思います。

H委員：本当はだから、公共施設というのは集中していないと意味がない。一番まずいのが病院とかが用地を求めて郊外に行ってしまうということが、都市計画上一番悪いわけですね。おいらせ町はある意味でへそをどこに作るのか？ということですね。それは先ほども言ったが腹をくくって、庁舎が移ったならば今後そこに公共施設とか町の中核的な機能を全部集中して投資していく。それを目掛けて病院が来れば、ひょっとしたら高齢者の住宅とかそういったものがまた新たにくっついてくるかもしれない。そのためには、将来の町のビジョンというのを、総合計画とかそういったところに書き記していく。そういう政策的な担保を作っていく必要があると思う。

M委員：委員長はどちらを希望されるのですか？個人的にはどちらが立地先として望ましいのか？

委員長：当然ショッピングセンターの周辺と考えます。だって、お金をかけて来てもらって大繁盛していて、あれに優るショッピングセンターとかエリアは八戸市中探してもどこにも無いですよ。ただ東になってピアドゥーとかラピアとか、みんな集まるからトータルとしてはこっちの数字より大きいですが、1店舗の集客としてはここが1番ですから依然として、20年近い間常にそれをキープしています。再来年20周年に向けてさらに補強しようとしている。それは活用すべき

だと思えます。利用すべきだと思えます。その周辺に持っていくのは経済人としては当然だと思えます。

委員長：あとは少しでもちょっと高い立地とか、その辺のことを考えなければいけないので、ここは言いませんがあの辺で十分です。だからF委員が言ったことも一理あると思えます。ただ、下田公園の中というのはもったいないなと思えます。やめていただきたい。そこに土地があるからとか近いからとかというそんな次元の話ではないと思えます。それとR委員が言ったようにあそこの道路をずっと六戸や十和田の官庁街どおりと同じような形のことにしようと思ったら、町が考えたら本気でやったらできなくはないと思えます。あともう1本くらいこっちから道路を通さないと駄目でしょうね。回れるエリアにするとか、公園にも近くてショッピングセンターにも近くて、住宅街が開けていくかもしれない。経済人としてはもったいないなということです。他に是非これは言っておきたいというご意見ありませんか？出尽くしてはいませんが事務局の方は何か？

事務局：いまだにだいたいの意見をまとめて整理して、早いうちにみなさまに送らせてもらって確認していただいて、最終案としてまとめていきたいと思えます。その際にまた意見があれば入れ込んでいきたいと思えます。

委員長：案件は以上となります。後は事務局の方で。

事務局：その他として、いまの付帯意見もだいたい聞かせていただきましたので、検討課題として素案に載せていく形にします。次回で最終ということで5回目となります。ちょうど参議院選挙が7/21に予定されていますので、会議日程はその辺も見て決めていただきたいと思えます。

次回会議日程

第5回（最終） 平成25年7月2日（火） 14：00～